



校訓

「明るく 清く たくましく」

平成30年6月11日発行



先週は発行できず、お伝えしたいこと山積み。
今週、がんばります。楽しんでお読みください。

オーケストラがやってきた

日比小では、「芸術に触れる機会を」と毎年いくつかの文化育成事業に応募しています。今年は岡山県の事業「春のスクールコンサート」の招聘が決まり、5月31日に岡山フィルハーモニック管弦楽団のメンバー19名がやってきました。

コンサートはロッシェリの「セビリアの理髪師」で開幕。まずは体育館を震わす圧倒的な音量で子どもたちのハートをぎゅっとつかみます。熱い視線が注がれる中、今度は弦・木管・金管・打楽器と種類ごとに子どもたちの前に出て構成楽器の紹介。楽器の名前や特徴と共に、ルパンやコナンなど知っている曲を演奏して1つ1つ音の違いを説明してくださいました。2年生以上は、昨年の日本センチュリーオーケストラを思い出しながら楽しんでいましたが、1年生は「あれルパンの曲だよ」と先生に話しかけるなど興奮気味でした。その中で、一番注目を浴びたのは、楽器ではなく司会のお姉さん。お姉さん、実は歌手で、圧倒的な声量で歌いだした「サンタルチア」には、子どもたちもびっくりです。体育館中を移動しながら、すぐそばで生の声を聴かせてくれたので一番盛り上がりました。

その後、ヨハンシュトラウスの「皇帝円舞曲」をはさんで、子どもたちがオーケストラと一緒に活動するコーナーに。最初の指揮者体験では、2年生の さん、4年生の さん、6年生の さんが前に出てタクトをふりました。振り方によってテンポが変わったり演奏が止まったりする中、3人ともオーケストラを操ることを

本物に似るって大事ですよ



演奏に釘づけです



さて、この楽器は



歌声にびっくり



楽しんでいました。

続く「一緒に歌おう」では、校歌と「翼をください」を、オーケストラをバックに大合唱。あとで岡フィルの方から「すごいですね。よかったですよ。」とほめていただいたぐらい素晴らしい歌声を響かせていました。「いい学校」って、こんな時にわかるんです。

「リズムde遊ぼう」では、子どもたちを2つに分けて、手拍子で音楽をつくりました。「風になりたい」の演奏に、玉野市にちなんで「たまの(♪♪)」「おんたま(♪♪)」のリズムを手拍子であわせて楽しみました。サンバっぽいリズムにあわせて手拍子するので、子どもたちはノリノリ。うきうきした様子がかっこ良かったです。

最後はブラームスの「ハンガリー舞曲5番」で締めくくりです。自分も指揮がやりたかったのでしょうね、あちこちでリズムに合わせミニ指揮者が登場するぐらいコンサートを楽しんでいました。「もっともっと」と子どもたちのアンコールにも応えていただき、1時間半の予定時間があっという間に過ぎ去りました。貴重な体験をさせていただいた岡フィルの皆様に感謝です。



タクト1本で自由自在

マイクを向けられたって太鼓の大きな声で歌います



たまの おんたま



岡フィルコンサート ~児童の振り返りより~

低学年

- 金管楽器の演奏にびっくりしました。
- ホースでも音が出るのがすごかった。
- 歌のお姉さんが手を繋いでくれたのが、うれしかったです
- 素敵なスクールコンサートでした。いろんな楽器が好きになりました。
- オーケストラの音で、翼をくださいの歌を歌うのを楽しみにしていました。きれいな演奏で歌うことができ感動しました。
- リズムで遊ぼうがよかったです。手でリズムを取って楽しかったです。

ミニ指揮者がいるとこで出現!

中学年

- サンタルチアを歌う声すごかったです。歌が入って迫力が違いました。
- ぼくもヴァイオリンやチェロを弾いてみたいです。
- 指揮者体験に出ることができて楽しかったです。来年も楽しみです。(願いが通じるといいね。)
- 「きれいな音だな」「すごい迫力だな」と思いました。



オケをバックに歌うことができ、楽しかったです。
児童代表 さん



- 1人なのに歌声が体育館全体に広がって、迫力が凄くてびっくりしました。
- 歌の時に、突然マイクを差し出されてびっくりした。
- 今まで普通に叩いているのしか見たことがなかったので、小太鼓のたたき方に驚きました。芸術鑑賞がますます好きになりました。
- 翼をください、うまく歌えたか心配でしたが、なんだか喜んでくれていたみたいでよかったです。
- 私たちの校歌を演奏してくれてうれしかったです。きつといっぱい練習してくれたんだと思います。演奏してくれた人の気持ちが伝わってきて、心に残りました。
指揮者に合わせて、ゆっくり演奏したり速くしたり、楽しかったです。
- 私も大人になったら一度はチェロで曲を弾いてみたいです。指揮者体験では、むちゃくちゃな指揮にも合わせていた演奏者の人にびっくりしました。
- 一番最初に演奏してくださった「セビリアの理髪師」。聞いていて手汗が出て、はらはらどきどきするような感じがしました。

PTA球技大会、盛り上がりました

今年のPTA球技大会にも、男子14名、女子8名と大勢の方にご参加いただき本当にありがとうございました。この大会、「勝つぞ!」とは言いますが、親睦が一番の目的です。上手・下手関係なく、スポーツを目的に同じ年代の子をもつ親が集まり交流を深めることが大事です。今年もよい雰囲気の中、怪我なく最後まで楽しく競技でき、本当によかったです。お世話いただいた体育部の役員のみなさんに本当に感謝です。ありがとうございました。日比小では、今後も親睦を一番にしていきます。来年はさらに多くの参加をお待ちしています。



女子 フレンドシップの部
Fコート ハッスルプレイ賞 (第1位)
(対八浜中、対田井小、対東見中 3戦全勝)



男子 Bブロック
残念ながら
対八浜小
対胸上小
共に負けでした

植物と共に



野菜名人さんや先生、用務員の先生などのおかげで、日比小の子は他校に比べ、植物とふれ合う機会が非常に多いです。

6年生では、「自分たちの手で野菜を育ててみたい」とついに係活動の中に野菜会社が作られました。タマネギの収穫を終えた畑には、知らぬ間に野菜を植えるために畝(うね)が作られています。何を植えるかは秘密だそうです。水をやり草取りなど全て自分たちです。こうした取組って貴重ですよ。

他の学年でもいろんな取組が行われています。1年生は、アサガオの間引きした際に出たいらなくなった苗をプランターに移植して、用務員先生の手を借りてグリーンカーテンを作るそうです。

2年生はプチトマトを育てていますが、先生が家庭で栽培したトマト苗を花壇も植えて育てるそうです。

職員玄関前に4年生が植えたヘチマは日に日に大きくなり、学校菜園のじゃがいもも収穫間近です。手をかけ、時間をかけて野菜を育てる経験から、成長にかかる手間や苦勞、そして収穫の喜びなど学んでほしいと思います。